

# Memory Mapper

I/Oアクセスのみ。

16KBのDRAMを単位として、SEGMENTと呼ぶ。

これを最大256個搭載することで最大4MBを接続可能にする仕組み。

1スロットに1つ搭載でき、これを複数搭載する事が出来る。

スロットの PAGE0~3 に 256種類の SEGMENT を自由に出現させられる。

PAGE0~3 全てに同じ SEGMENT を出すことも出来る。

I/Oは、書き込みONLYという仕様であるが、本回路は読み出しも可能にする。

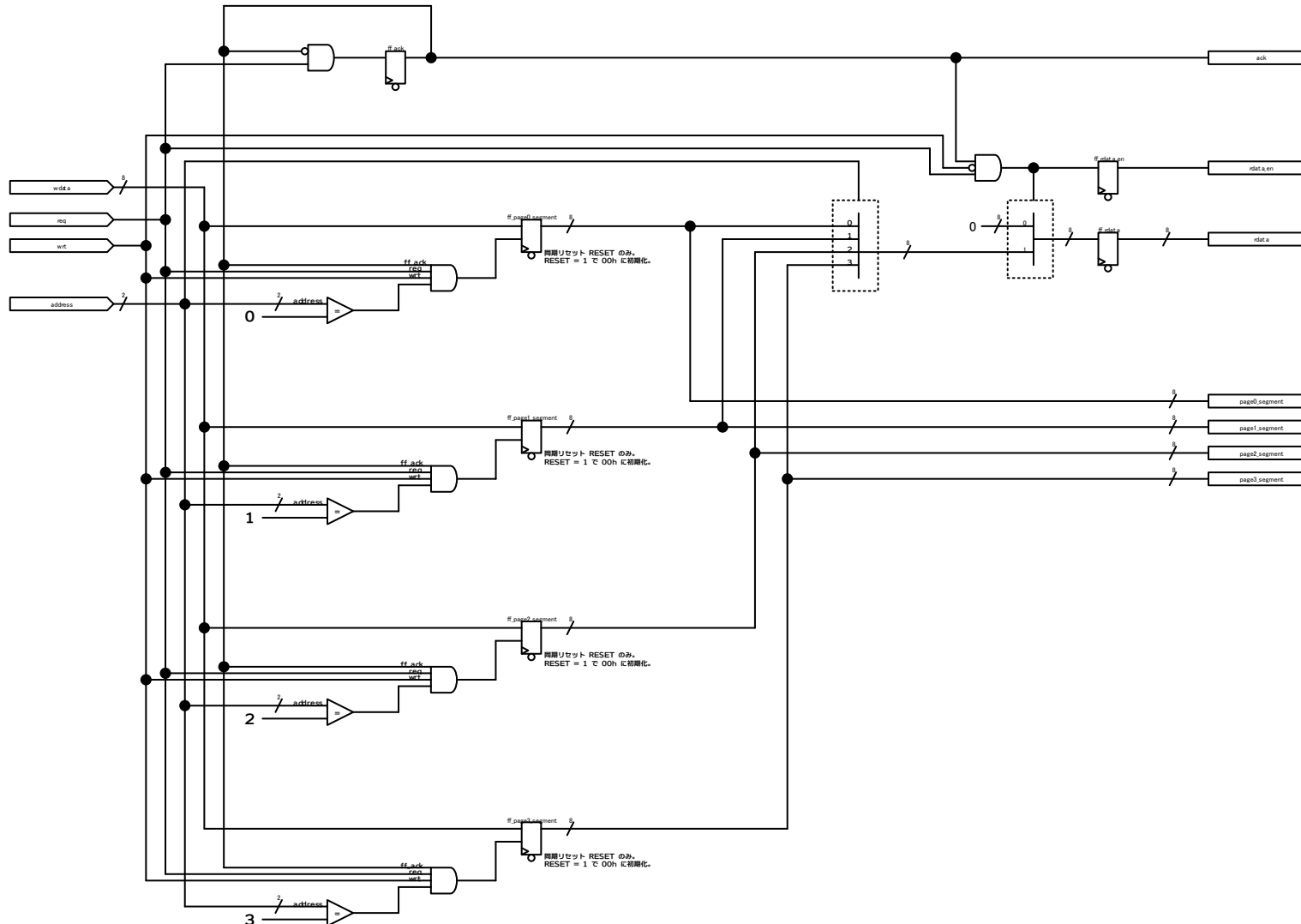
I/O FCh への書き込みは、PAGE0へ出現させる SEGMENT番号指定になる。

I/O FDh への書き込みは、PAGE1へ出現させる SEGMENT番号指定になる。

I/O FEh への書き込みは、PAGE2へ出現させる SEGMENT番号指定になる。

I/O FFh への書き込みは、PAGE3へ出現させる SEGMENT番号指定になる。

Z80 からは、この Memory Mapper が接続されているスロットが選択されている PAGE だけ、選択した SEGMENT が見える状態になる。



# Memory Mapper Inst

Wrapper階層。

MSX50BUS I/F に合わせるのと、アドレスデコードをする部分。

